

令和 4 年度

高等学校入学者選抜学力検査問題

社 会

注 意 事 項

- 1 問題は、1ページから7ページまであります。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。

1 次の略年表を見て、(1)～(7)の問い合わせに答えなさい。(18点)

時代	飛 鳥	奈 良	平 安	鎌 倉	室 町	安 桃	土 山	江 戸	明 治	大 正	昭 和	平 成
日本 の で き ご と	① 大化の革新が始まる 大化の革新が始まる	② 庄園ができ始める 庄園ができ始める	③ 国風文化が栄える 国風文化が栄える	④ 鎌倉幕府がほろびる 鎌倉幕府がほろびる	⑤ ヨーロッパ人が来航する ヨーロッパ人が来航する	⑥ 太閤検地が始まる 太閤検地が始まる			⑦ 産業革命が進む 産業革命が進む	⑧ 大正デモクラシーが始まる 大正デモクラシーが始まる	⑨ 國際連合に加盟する 國際連合に加盟する	⑩ 京都議定書が採択される 京都議定書が採択される

(1) 傍線部①に関する a, b の問い合わせに答えなさい。

a 傍線部①とよばれる政治改革を始め、のちに即位して天智天皇となった人物はだれか。その人物名を書きなさい。

b 次の [ ] の中の文は、傍線部①が始まった後におこったできごとについてまとめたものである。文中の( あ ), ( い )に当てはまる語として正しい組み合わせを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

朝鮮半島に大軍を送った倭(日本)は、唐と( あ )の連合軍と戦った。この( い )に敗れた倭(日本)は朝鮮半島から退いた。その後、朝鮮半島は( あ )によって統一された。

ア あ 百濟	イ い 白村江の戦い	イ あ 新羅	イ い 白村江の戦い
ウ あ 百濟	イ い 壬申の乱	エ あ 新羅	イ い 壬申の乱

(2) 傍線部②の特色の1つとして、かな文字が発達したことがあげられる。かな文字を用いて、清少納言が書いた隨筆は何とよばれるか。その名称を書きなさい。

(3) 傍線部③に関する a～c の問い合わせに答えなさい。

a 元寇(モンゴル帝国の襲来)の後に、傍線部③が行ったことを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 御成敗式目を制定した。	イ 銀閣を建てさせた。
ウ 勘合貿易を始めた。	エ 德政令を出した。

b 資料1は、鎌倉時代に、ある御家人が、自らの家の相続について書いた文書の一部を要約したものである。資料1から、この文書を書いた御家人は、相続方法を変えたことが分かる。資料1から読み取れる、この御家人が相続方法を変えた理由を、今までの相続方法を続けた場合におこる領地への影響とあわせて、簡単に書きなさい。

c 後醍醐天皇は、傍線部③に不満を持つ悪党や武士を味方につけて、傍線部③をほろぼした。傍線部③をほろぼした後醍醐天皇が中心となって行った政治は何とよばれるか。その名称を書きなさい。

#### 資料1

私が先祖から受け継いできた領地を、嫡子(家の跡継ぎとなる子)に譲る。今までのように、嫡子以外の子にも、私が受け継いできた領地の一部を譲るべきだろうが、嫡子以外の子にも譲ってしまうと、幕府に緊急事態があったときに対応できないため、嫡子一人に譲ることとする。

(「山内首藤家文書」より、一部を要約)

(4) 図1は、傍線部④などの来航のようすが描かれたものである。図1に関するa, bの問い合わせに答えなさい。

a 図1に描かれている傍線部④の多くは、ポルトガル人やスペイン人である。16世紀から17世紀にかけて来日したポルトガル人やスペイン人と、日本人との間で行われた貿易は何とよばれるか。その名称を書きなさい。

図1



b 図1には、宣教師が描かれている。1549年に来日したザビエル以降、イエズス会の宣教師が次々と来日した。ポルトガルがイエズス会の海外布教を支援した理由を、宗教改革の影響が分かるように、簡単に書きなさい。

(5) 次のア～ウは、略年表中のⒶの期間におこったできごとについて述べた文である。ア～ウを時代の古い順に並べ、記号で答えなさい。

ア 田沼意次は、商工業者が株仲間をつくることを奨励した。

イ 德川綱吉は、極端な動物愛護政策である生類憐みの令を出した。

ウ 井伊直弼は、幕府の政策に反対する大名や公家などを処罰した。

(6) 明治時代の中期に、日本では傍線部⑤が進んだ。

グラフ1は、1882年と1897年における、日本の輸入総額に占める品目別の輸入額の割合を示している。グラフ1に関するa, bの問い合わせに答えなさい。

a グラフ1から、1897年の綿花の輸入の割合が、1882年よりも上がっていることが分かる。グラ

フ1から考えられる、1882年から1897年の間に、綿花の輸入の割合が上がった理由を、傍線部⑤の影響による綿糸の国内生産量の変化に関連づけて、簡単に書きなさい。

b 1882年における砂糖の主な輸入先は台湾であった。台湾は、1882年から1897年の間に結ばれた条約によって、日本に譲られた。台湾を日本に譲る内容が含まれている条約を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 下関条約 イ 日米和親条約 ウ ベルサイユ条約 エ ポーツマス条約

(7) 傍線部⑥に関するa, bの問い合わせに答えなさい。

a 日本が傍線部⑥に加盟した年におこった、日本の傍線部⑥への加盟に影響を与えたできごとを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

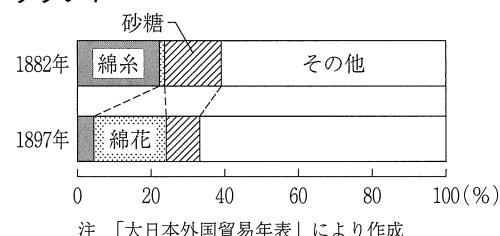
ア ポツダム宣言を受諾した。 イ サンフランシスコ平和条約が結ばれた。

ウ 日本とソ連が国交を回復した。 エ 日中共同声明に調印した。

b 表1は、1945年と2019年における、傍線部⑥の加盟国数を、

地域別に示したものである。表1から、1945年と比べて、2019年の総会における、地域別に見たときの影響力は、南北アメリカが最も低下していると考えられる。表1から考えられる、1945年と比べて、2019年の総会における南北アメリカの影響力が低下している理由を、総会における加盟国の投票権に関連づけて、簡単に書きなさい。

グラフ1



注 「大日本外国貿易年表」により作成

表1

	1945年 (か国)	2019年 (か国)
南北アメリカ	22	35
ヨーロッパ	14	43
アジア	9	47
アフリカ	4	54
オセアニア	2	14
合計	51	193

注 国際連合資料により作成

2 次の(1)~(6)の問い合わせに答えなさい。なお、**地図1**の中の**A**～**E**は県を示している。(12点)

(1) **C**に関するa, bの問い合わせに答えなさい。

a **C**の県庁所在地には、世界文化遺産に登録された原爆ドームがある。**C**の県名を書きなさい。

b **C**の県庁所在地の中心部は、河口付近に広がった平地に位置している。一般に、河口付近には、川が運んできた細かい土砂が堆積して平地ができやすい。河口付近に川が運んできた細かい土砂が堆積してできた平地は何とよばれるか。その名称を書きなさい。

(2) 表2は、2015年における、**A**～**E**の、総人口、65歳以上の人団、総面積、総面積に占める過疎地域の面積の割合を示している。表2から読み取れることとして正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 総面積が小さい県ほど、過疎地域の面積の割合が低い。

イ 総人口が少ない県ほど、過疎地域の面積の割合が低い。

ウ 総面積が大きい県ほど、65歳未満の人口が多い。

エ 総人口が多い県ほど、65歳未満の人口が多い。

(3) 図2は、**地図1**の八幡浜市と大洲市の、一部の地域を示した地形図である。**図2**には、—・—(市の境界)が見られる。**図2**から読み取れる、—・—の西側の土地のようすや利用について述べた文として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

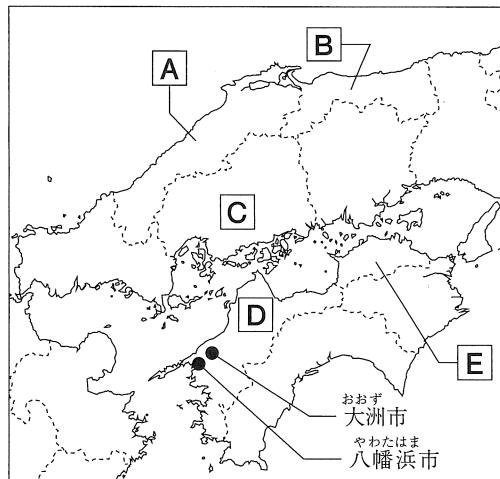
ア —・—の東側と比べて斜面の傾きが急であり、果樹園として利用されている。

イ —・—の東側と比べて斜面の傾きが急であり、針葉樹林として利用されている。

ウ —・—の東側と比べて斜面の傾きがゆるやかであり、果樹園として利用されている。

エ —・—の東側と比べて斜面の傾きがゆるやかであり、針葉樹林として利用されている。

**地図1**

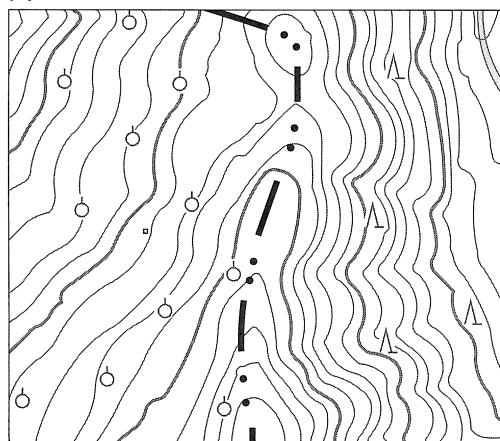


**表2**

	総人口 (千人)	65歳以上 の人口 (千人)	総面積 (km <sup>2</sup> )	過疎地域 の面積の 割合(%)
<b>A</b>	694	223	6,708	85.4
<b>B</b>	573	169	3,507	56.5
<b>C</b>	2,844	774	8,479	63.3
<b>D</b>	1,385	417	5,676	65.2
<b>E</b>	976	286	1,877	36.8

注 総務省資料などにより作成

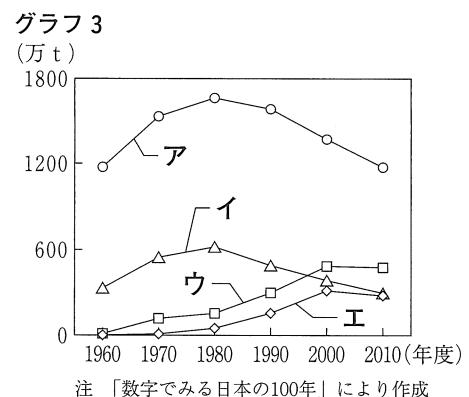
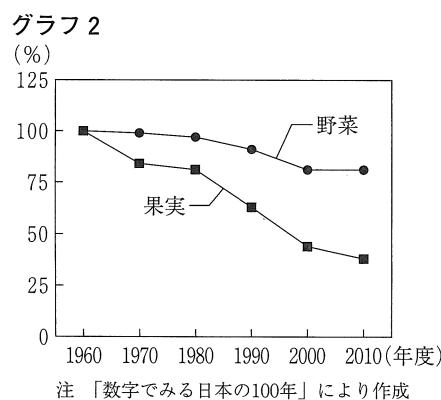
**図2**



注 國土地理院の電子地形図(タイル)により作成

(4) グラフ2は、1960年度から2010年度における、野菜と果実の、国内自給率の推移を示している。

グラフ3は、1960年度から2010年度における、野菜と果実の、国内生産量と輸入量の推移を示している。グラフ3のア～エは、野菜の国内生産量、野菜の輸入量、果実の国内生産量、果実の輸入量のいずれかを表している。グラフ2を参考にして、果実の国内生産量と、果実の輸入量に当たるものを、グラフ3のア～エの中から1つずつ選び、記号で答えなさい。



(5) 濑戸内工業地域に関するa, bの問い合わせに答えなさい。

a 関東地方から九州地方北部にかけては、瀬戸内工業地域などの工業地域が帶状につらなっている。関東地方から九州地方北部にかけてつらなっている、帶状の工業地域は何とよばれるか。その名称を書きなさい。

b 表3は、2019年における、日本の原油の、生産量と輸入量を示している。瀬戸内工業地域の臨海部には、石油化学工業の工場群が形成されている。日本において、石油化学工業の工場群が、臨海部に形成されるのはなぜか。その理由を、表3から読み取ることに関連づけて、簡単に書きなさい。

(6) 図3は、塩田において塩の生産を行っているようすを撮影した写真である。瀬戸内海沿岸では、潮の干満差や気候を生かし、遠浅の海岸に引き入れた海水を乾燥させて塩を生産する塩田が見られた。現在、瀬戸内海沿岸の一部の塩田の跡地では、その気候を生かした発電が行われるようになっている。瀬戸内海沿岸の一部の塩田の跡地で行われるようになっている、瀬戸内海沿岸の気候を生かした発電方法として最も適しているものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。また、瀬戸内海沿岸の塩田の跡地がその発電方法に適している理由を、瀬戸内海沿岸の気候の特徴に着目して、簡単に書きなさい。

ア 火力発電

イ 原子力発電

ウ 太陽光発電

エ 地熱発電

表3

	生産量 (千kL)	輸入量 (千kL)
2019年	522	175,489

注 「日本国勢団会2020/21」により作成

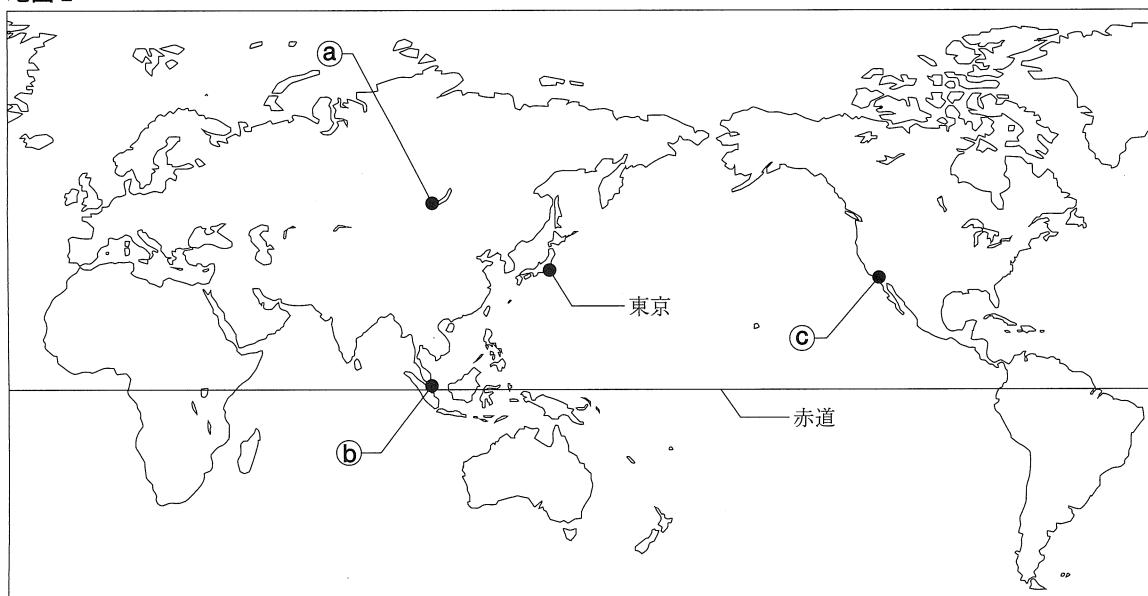
図3



注 塩事業センターウェブサイトより

3 次の(1)~(4)の問い合わせに答えなさい。なお、地図2は、緯線と経線が直角に交わった地図であり、地図2の中のⒶ～Ⓒは都市を示している。(9点)

地図2

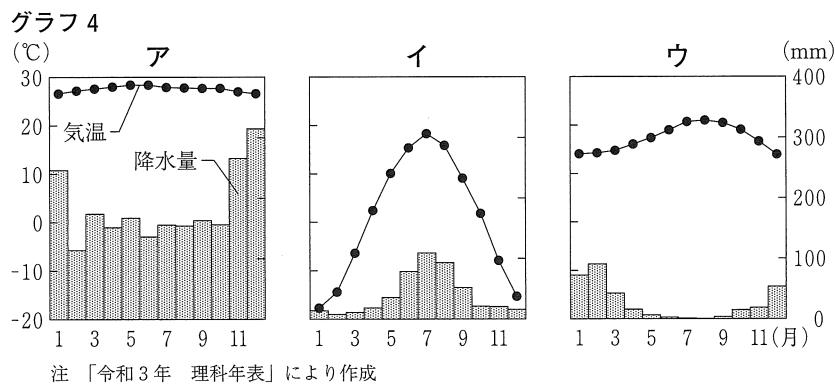


(1) 次のア～エの中から、東京を通る緯線と同じ緯線が通らない大陸に当たるもの1つ選び、記号で書きなさい。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ア オーストラリア大陸 | イ ユーラシア大陸 |
| ウ アフリカ大陸    | エ 北アメリカ大陸 |

(2) 地図2のⒶ～Ⓒに関するa, bの問い合わせに答えなさい。

a グラフ4のア～ウは、地図2のⒶ～Ⓒのいずれかの都市の、気温と降水量を示したものである。グラフ4のア～ウの中から、Ⓐの都市の、気温と降水量を示したもの1つ選び、記号で答えなさい。



b Ⓒは、Ⓑと16時間の時差がある。Ⓑの現地時間が8月3日午前10時のとき、Ⓒの現地時間は何月何日何時であるかを、午前、午後の区別をつけて書きなさい。なお、サマータイム(夏に時間を標準時より一定時間進める制度)は考えないものとする。

(3) 東南アジアに関するa, bの問い合わせに答えなさい。

a 東南アジア地域の安定と発展を目指し、東南アジアの国々によって結成された組織の名称の略称は何とよばれるか。その略称を、アルファベットで書きなさい。

b 表4は、マレーシア、タイ、表4

インドネシア、フィリピン、日本の、2000年、2010年、2018年における、人口と1人当たりの国民総所得を示している。近年、日本の製造業だけでなく、日本の商業・サー

	人口(万人)			1人当たりの国民総所得(ドル)		
	2000年	2010年	2018年	2000年	2010年	2018年
マレーシア	2,319	2,821	3,153	3,716	8,753	10,968
タイ	6,295	6,720	6,943	1,968	4,864	6,925
インドネシア	21,151	24,183	26,767	804	3,147	3,773
フィリピン	7,799	9,397	10,665	1,218	2,560	3,723
日本	12,752	12,854	12,720	38,874	45,490	40,529

注 「世界国勢団会2020/21」などにより作成

ビス業も東南アジアに進出するようになっている。日本の商業・サービス業が東南アジアに進出する理由を、表4から読み取れることとあわせて、簡単に書きなさい。ただし、市場といいう語を用いること。

- (4) 農産物は、気候や需要量などの影響を受け、生産量が変化する。穀物は、主に食用や飼料用などに用いられるが、新たな用途が開発されると生産量が増加することがある。グラフ5は、1990年から2015年における、米、小麦、とうもろこしの、世界全体の生産量の推移を示している。地球環境問題に関する生産量が増えている、グラフ5のⒶに当たるものは何か。次のア～ウの中から1つ選び、記号で答えなさい。また、Ⓐの生産量が増えている理由として考えられることを、地球環境問題に関する新たな用途に着目して、簡単に書きなさい。

ア 米 イ 小麦 ウ とうもろこし

4 次の(1)～(3)の問い合わせに答えなさい。(11点)

- (1) 次の [ ] の中の文は、日本国憲法第96条に定められている、憲法改正の手続きについてまとめたものである。この文に関するa～cの問い合わせに答えなさい。

日本国憲法の改正は、(a)衆議院と参議院の、それぞれ総議員の(⑥)の賛成を得て、国会が発議する。この発議を受けて行われる(⑦)で、国民の承認を得ると改正案が成立し、(b)天皇が国民の名で公布する。

- a 文中の下線部ⓐの議員は、それぞれ選挙で選ばれる。下線部ⓐの議員選挙でとられている、得票数に応じて政党に議席を配分するしくみは何とよばれるか。その名称を書きなさい。

- b 文中の(ⓐ), (⑦)に当てはまる語として正しい組み合わせを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

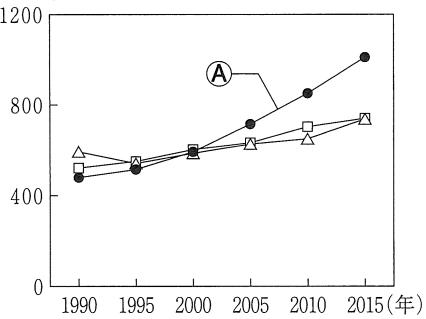
ア ⓠ 過半数 イ ⑥ 国民投票 イ ⓠ 過半数 イ ⑥ 国民審査

ウ ⓠ 3分の2以上 ⑥ 国民投票 エ ⓠ 3分の2以上 ⑥ 国民審査

- c 文中の下線部ⓑは、天皇が、内閣の助言と承認によって行う、形式的・儀礼的な行為の1つである。天皇が、内閣の助言と承認によって行う、形式的・儀礼的な行為は何とよばれるか。その名称を書きなさい。

グラフ5

(百万t)



注 「世界国勢団会2018/19」などにより作成

[次のページに続く]

(2) 経済に関する a, b の問い合わせに答えなさい。

- a 次の [ ] の中の文は、日本銀行が行う公開市場操作について述べたものである。文中の( あ )～( う )に当てはまる語として正しい組み合わせを、次のア～クの中から1つ選び、記号で答えなさい。

好景気(好況)のとき、日本銀行は国債を( あ )。それによって一般の銀行は手持ちの資金が( い )ために、企業などへの貸し出しに慎重になる。その結果、景気が( う )。

- |        |       |        |        |       |          |
|--------|-------|--------|--------|-------|----------|
| ア あ 買う | ① 増える | ③ 回復する | イ あ 買う | ① 増える | ③ おさえられる |
| ウ あ 買う | ① 減る  | ③ 回復する | エ あ 買う | ① 減る  | ③ おさえられる |
| オ あ 売る | ① 増える | ③ 回復する | カ あ 売る | ① 増える | ③ おさえられる |
| キ あ 売る | ① 減る  | ③ 回復する | ク あ 売る | ① 減る  | ③ おさえられる |

- b 電気・ガス・水道などは、それぞれの地域で供給者が独占状態であることがほとんどである。これらは安定的に供給される必要があり、価格を自由に決めることが許されていない。電気・ガス・水道の料金のように、政府などが決定・認可する価格は何とよばれるか。その名称を書きなさい。また、この価格の決定・認可に政府などが関わり、価格の上昇などを規制する理由を、簡単に書きなさい。

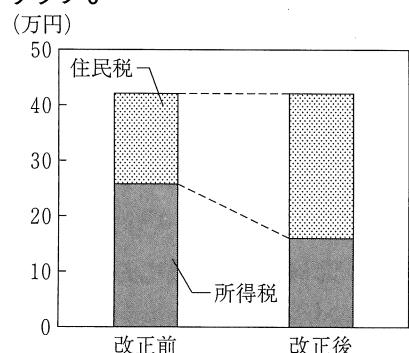
- (3) 1990年代から、地方自治に関する改革が行われている。資料2は、1999年に制定された、地方分権一括法の施行前後の、変化のようすをまとめたものである。グラフ6は、2006年度税制改正の前後の、年収500万円の世帯における、所得税(国に納める直接税)と住民税(都道府県と市町村に納める直接税)の、1年間の負担合計額を、所得税と住民税に分けて示している。グラフ7は、1997年度と2007年度の、全国の地方自治体の収入の総額を、自主財源と依存財源に分けて示している。国が地方自治に関する改革を行った、財政面での改革のねらいを、資料2から分かる、地方分権一括法を制定した目的と、グラフ6とグラフ7から分かる、改革の内容に関連づけて、70字程度で書きなさい。

#### 資料2

- |  |  |
|--|--|
| ・ 地方分権一括法の施行前<br>国と地方自治体は上下・主従の関係であり、地方自治体の仕事に国が強く関与したり、国が行うべき仕事を地方自治体が国の代わりに行ったりすることがあった。 | ・ 地方分権一括法の施行後<br>国と地方自治体は対等・協力の関係となり、各地方自治体が特性を生かし、みずからの判断や責任に基づいた政治を行いやすくなった。 |
|--|--|

注 総務省資料などにより作成

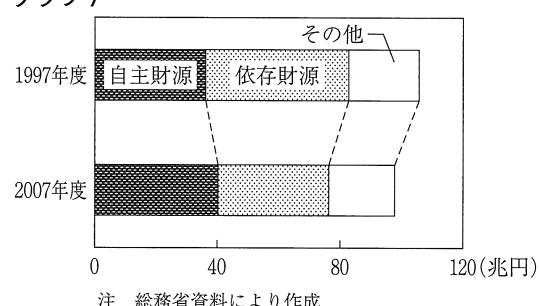
グラフ6



注1 総務省資料により作成

注2 所得税と住民税の負担額は、独身者の場合を示している。

グラフ7



注 総務省資料により作成